



## 診断なら 2021新年号

### — 目次 —

- ◆ 新年のご挨拶・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- ◆ 令和2年度中小企業診断士理論政策更新研修開催報告・・・・・・・・ 3
- ◆ 活動報告
  - 奈良県立図書情報館「体験学習会&無料経営相談会」実施報告・・・・・・・・ 4
  - 大和高田 2020 創業塾・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
  - 114ね中小企業診断士の日・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
- ◆ S W O T分析Tシャツ～コンサル映えグッズのデザイン～・・・・・・・・ 8
- ◆ 各研究会活動報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
  - 企業内診断士研究会
  - 共通E D I 推進研究会
  - 奈良活性化研究会
- ◆ 令和3年1月～7月行事予定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
- ◆ 編集後記

## 新年のご挨拶



会長 森 昭彦

2020年は、ウイルスに追われ続けた1年でした。  
世界中のどこにも逃げる場所がなく、いつ終わるのか分からない災害が現在も続いています。  
昨年末にワクチン供給のニュースが流れ始めた矢先に、イギリスで変種のコロナウイルスが見つかったとのニュースが被せるように流れました。  
終わりの見えない戦いはまだまだ続くのでしょうか。

経営コンサルタントは、事業者を支援する際に、短期的な視点と長期的な視点を重ねながら支援を進めます。ところが昨年は、短期的・緊急的な支援の割合が圧倒的に多くなりました。

「持続化給付金」「家賃支援給付金」「ものづくり補助金コロナ対応型」「小規模事業者持続化補助金コロナ対応型」「雇用調整助成金コロナ特例」「日本政策金融公庫 新型コロナウイルス感染症特別貸付」「奈良県制度融資新型コロナウイルス感染症対応資金」「奈良県緊急支援事業補助金」「奈良県再起支援事業補助金」「奈良県観光局の各種補助金」「奈良県テイクアウト・デリバリー支援補助金」と、昨年のコロナ対策は実に多岐に渡りました。

この中で長期的な視点を取り入れられていた施策は限られており、多くが事業者の緊急対応を支援する施策でした。今年も同様の緊急支援事業が実施される可能性があります。その際は、とにかく最優先でお手伝いしなければと考えています。

昨年12月に公開された「令和2年度第3次補正予算案」では、「中小企業等事業再構築促進事業1兆1千485億円」が予定されています。

この事業の目的は、「ポストコロナ・ウィズコロナ時代の経済社会の変化に対応するために、中小企業等の事業再構築を支援する」ということですので、長期的な視点の施策も多くなりそうです。

補助金の規模が100万円から1億円、補助対象も小規模事業者から中堅企業と、幅広い施策になる予定です。

今年が、全ての事業者にとって良い1年になりますように  
我々もネジを巻き直し、気合を入れて支援して参ります！

令和 3年 1月  
(一社) 奈良県中小企業診断士会 会長 森 昭彦

## 令和2年度中小企業診断士 理論政策更新研修開催報告



担当理事 岸 克行

例年、理論政策更新研修は申込受付開始後即座に定員に達し、奈良県会員の方からは「奈良で受講したいが、すぐ満席になり受講」できないとの声を聞いていました。今年は年2回開催を決めていました。緊急事態宣言の発動後、各地の理論政策更新研修は中止が相次ぎ開催が危ぶまれる状況が続いてきました。

幸いにも9月は感染者数も減少し、ガイドラインに即して実施可能となりました。定員数の半分以上で、3密を避けた開催ということで、募集人数は各回55名。今年は2回の開催としたため、図らずも前年並みの診断士の皆さまに理論政策更新研修を提供することができ、ひとまず安堵しました。

開催日は9月12日（土）と10月3日（土）でした。開催に関しても中小企業診断士の会合でクラスターを発生させるわけにもいかず、主催者、受講者ともに緊張感を持って取り組みました。

受講された方には、いろいろご不便をおかけしたと思いますが、この誌面をお借りしてご協力の程を御礼申し上げます。

### <1回目 9月12日>

- ・1 講目 テーマ：新しい中小企業政策について / 講師：近畿経済産業局中小企業課 伊藤信一氏
- ・2 講目 テーマ：中小企業の国際化支援 / 講師：KJ グローカル経営事務所代表 小峰潤氏
- ・3 講目 テーマ：中小企業診のAI活用 / 講師：人工知能応用センター理事長 石倉一利氏

### <2回目 10月3日>

- ・1 講目 テーマ：新しい中小企業政策について / 講師：奈良県地域産業振興センター  
奈良県事業承継ネットワーク  
チーフコーディネーター 中崎 宏平氏
- ・2 講目 テーマ：中小企業診のAI活用 / 講師：人工知能応用センター理事長 石倉 一利氏
- ・3 講目 テーマ：中小企業の国際化支援 / 講師：KJ グローカル経営事務所代表 小峰 潤氏

近畿経済産業局 伊藤信一氏



1テーブル1人掛けでソーシャルディスタンス確保



## 活動報告

### 奈良県立図書情報館 「体験学習会&無料経営相談会」 実施報告



会員 深谷 繁

前回（2020年夏号）までの「診断なら」でご報告をいたしました通り、企業内診断士研究会では、2013年度より奈良県立図書情報館様との共催で、「中小企業診断士による体験学習会&無料経営相談会」を行っています。

初年度の2013年度は3回（3日）、2014年度は2回（2日）、2015年度から2019年度までは各6回（6日）で、各日経営相談会は午前10時30分から午後4時まで、体験学習会は原則的に午後1時から4時まで実施してきました。

今年度（2020年度）は、例年通り6回のイベント（体験学習会と経営相談会）を予定していましたが、上半期の3回（5月、6月、7月）は、新型コロナウイルスの感染防止のため図書情報館様が一時閉館となりましたので、それに伴い中止しました。下半期の3回は、経営相談会は感染防止のため実施せず、体験学習会のみを11月、12月、1月に各1回を実施することにいたしました。

第1回目は11月8日（日）に行いました。体験学習会に5名の方が受講に来られました。この日は、谷村幸治氏が『コロナ禍でもものづくりの将来と、なぜなぜ分析による改善』をテーマに講義を行いました。

講義の内容として、①コロナ禍後の社会変化のイノベーション像について、コロナ禍がもたらした社会変化、今後想定されるシナリオ、新しい社会観・社会的価値観、コロナ禍後に起こる仕事・産業の変化、コロナ禍後に必要とされるイノベーション像等の解説をしました。

続いて、②なぜなぜ分析がどんな手法なのかについて、「あるべき姿からのアプローチ」と「原理・原則からのアプローチ」の説明をした後、10題の練習問題（個人演習）を行って受講者の方々に理解を深めて頂きました。



#### 2-なぜなぜ分析とは？（簡単そうで結構、難しい）

なぜなぜ分析とは、現象を発生させている要因を思いつきで考えるのではなく、規則的に、順序よく、漏れなく分析する方法です。一つの現象に対して、①と②の要因が考えられたとします。次に①と②が「なぜ」起きたのかを考えて行きます。更に次の「なぜ」へと繰り返し考えて行けば良いのです。

そして、最後のなぜが発生した要因の源の部分になります。その要因の中で犯人に当てはまった項目を裏返して対策とします。但し、最後に上げられる対策は、確実に効率的な歯止め（再発防止策）がかけられる要因でなければなりません。

ただ「なぜ」を繰り返すだけでは「真因」にたどり着かない。「原因不明」とならない様に正しい「なぜ」を追求する必要があります。

設備故障や品質不良は自分自身、自分たちの問題として捉え、自主保全の何が不足していたのかを学ぶ事が大切です。

最終のなぜ（現象に対する要因の源）

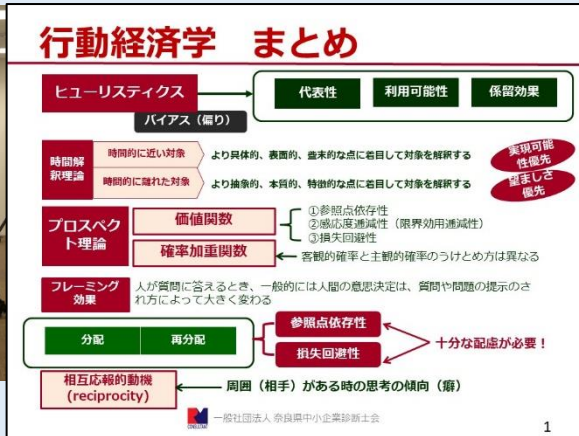
① 現象がなぜ起こるのか  
② ①がなぜ起こるのか  
①-1 ①-1がなぜ起こるのか  
①-2 ①-2がなぜ起こるのか  
②-1 ②-1がなぜ起こるのか  
②-2 ②-2がなぜ起こるのか  
①-1-1 ①-1-1がなぜ起こるのか  
①-1-2 ①-1-2がなぜ起こるのか  
②-1-1 ②-1-1がなぜ起こるのか  
②-1-2 ②-1-2がなぜ起こるのか



第2回目は12月13日（日）に行いました。体験学習会に8名の方が受講に来られました。この日は、深谷繁が『行動経済学入門（3）～ フレーミング理論と相互応報性編 ～』をテーマに講義を行いました。

講義の内容として、①フレーミング理論、すなわち「人間の意思決定は、質問や問題の提示のされ方によって大きく変わる」こと、続けて②人が公正と考える根底には、損失回避性、すなわち保有効果と現状維持バイアスが関わっていることの解説をしました。

さらに③周囲の人を意識した場合、人は自分の利益を追求するだけではなく、相互応報性すなわち「情けは人の為ならず」に基づいた行動をすることを説明しました。さらに受講者の方に、ご自身の経験の中で該当する事例について考えて頂きました。



上記2回は、企業内診断士研究会のメンバーである泉谷陽一氏、上野浩二氏、香川登志雄氏、梶純子氏、谷村幸治氏、長雅規氏と深谷繁の7名が従事しました。今年度は1月17日（日）に第3回のイベント（体験学習会のみ開催）を予定しています。

来年度（2021年度）は、例年通り6回（5月、6月、7月、11月、12月、1月に各一日）のイベントを予定しています。詳細が決まりましたら、図書館様のホームページやチラシによる広報手段や、奈良県中小企業診断士会のホームページなどでお知らせをする予定です。

以上

## 大和高田 2020 創業塾



担当理事 岸 克行

2020年の創業塾の報告です。大和高田商工会議所様より創業塾開催支援の依頼をいただき、当会ではカリキュラムを作成し、講師を奈良マーケティング研究会のメンバー中心に設定しました。春からのスタートを構想していましたが、コロナ禍の中、無事開催に至り旨をなでおろしました。

本年度の特長はペア参加が多かったこと。夫婦やビジネスパートナーの男女で受講されるというのに時代を感じました。

全5回の中で、私は第2回マーケティングと最終回第5回の発表とブラッシュアップを担当しました。最終回終了後、参加者の人たちからは、口々にこの創業塾を受講して良かったと感想を述べられていました。事業を開始する前に、聴いておいて良かったとの声が印象的でした。

担当された講師陣の皆様、運営していただいた大和高田商工会議所の皆様本当にありがとうございました。

第1回	11月7日	ビジネスモデルと事業経営	講師	森 昭彦 診断士
第2回	11月14日	マーケティングと販路開拓	講師	岸 克行 診断士
第3回	11月21日	ウィズコロナ時代の人材育成	講師	津田一郎 診断士
第4回	11月28日	会計の基礎知識と資金管理	講師	保延 薦 診断士
第5回	12月5日	ブラッシュアップと発表	講師	岸 克行 診断士 (いずれも当会会員)



第1回 ビジネスモデルと事業経営／森会長

## 114ね中小企業診断士の日



担当理事 保延 薦

中小企業診断士の日の担当をしている保延です。

今年も診断士の日である11月4日（水）に20時～20時30分（11月22日に再放送あり）で、ならどっとFM（奈良市餅飯殿町5奈良もちいどのビル1階スタジオ）でラジオ放送を行いました。不特定多数のラジオリスナーに対して、以下の内容の放送を行い、中小企業診断士の地位向上等を図りました。

内容は、

（1）中小企業診断士の概要等説明（中小企業診断士とはどんな資格であるのか、具体的にどんな役割を果たしているのか等について）を行いました。

（2）過去支援を行ってきた事業者様（女性経営者）にも参加して頂き、森会長と保延の3名で行いました。事業者様には、支援の感想、これから中小診断士に期待すること等についてお話しをして頂きました。

（3）奈良県中小企業診断士会の活動について（奈良県中小企業診断士会の主な活動内容、今後行っていく予定等について）も説明をさせて頂きました。

今回は、事業者様にも参加して頂いたことから、充実した内容になりました。ご興味がある方は、録音してありますので、事務局に連絡してください。



## SWOT 分析 T シャツ ～コンサル映えグッズのデザイン～



会員 矢野 裕道

「オンデマンド印刷」を使ったウェブのサービスをご存知でしょうか？ウェブサイトで画像を入稿さえすれば、そのデータを元に1点からでもTシャツ、マグカップ、トートバッグなど、様々なオリジナルの製品を作ることができるというサービスです。これまでも名刺やチラシ、ボールペンやカレンダーなど企業の販促・ノベルティ制作として利用されたことのある方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

昨今では自社用途だけに留まらず、オンライン販売用途でオリジナルデザイングッズを作成する使い方がクリエイターを中心にSNSで広まっています。それもなんと自分で在庫を持つこともなく、注文を受けるたびに自分で発注・発送作業も行うこともなく、です。自前のオンラインショップすら持ちません。

これはどういう仕組みかという、クリエイターは自分でデザインした画像を入稿さえすれば、オンデマンド印刷サービス事業者のサイト上でそのデータから「完成品イメージ画像」を合成することでバーチャルな商品ページが作られるんですね。そのバーチャルな商品ページのURLをSNSを使って自分のフォロワーへ届けることで、実際にオンライン上で注文が発生するという販売形態です。これはいわゆるドロップ SHIPPINGのような形態となり、オンデマンド印刷サービス事業者にもよりますが概ね次のような流れになります。

- ① クリエイターが自分でデザインした画像を入稿する
- ② そのデータから合成した商品画像・商品ページが自動的に作られる
- ③ その商品に自分で価格を設定して、SNSなどオンラインで集客する
- ④ 注文が発生したら都度、自動的に実物の製造・発送まで行ってもらえる
- ⑤ 売上からその分の費用を差し引いた額が自分に振り込まれる



さて、IT/WEB マーケティングを専門としている小職としては「こりゃやってみなくちゃな」という思いから、自分のブランドを企画。テーマはビジネスフレームワークなどを題材とした「コンサルっぽい」グッズ。

「YouTube で診断士のセミナー動画を見るけど、何か視聴者の目を引くアクセントが欲しい」「SWOT 分析 T シャツとか、頭コンサルでおもしろいかも」「その流れで行くと PEST 分析マスクとか」「問題児。負け犬。ウチの子供に着させたい」

図表 1. 完成した SWOT 分析 T シャツを着てご満悦の小職  
去年末にいくつかサンプルを作り（図表 1）、徐々にラインナップを増やしながらショップ公開準備中。ぜひ、YouTube や Instagram での「コンサル映え」アイテムをご入用の方はご相談下さい。



## 各研究会活動状況

企業内診断士研究会	
活動内容	実務ポイントの獲得とメンバーのスキルアップを目的とした活動を行っている。2013 年度より、奈良県立図書情報館において「体験セミナー&無料経営相談会」を開催。
会員数	16 名
開催頻度	例年は図書情報館で年間 6 日開催（上半期 3 回、下半期 3 回） 2020 年度は、新型コロナウイルス感染防止のため、上半期の 3 回は開催せず、下半期 3 回の体験セミナーのみを実施（経営相談会は実施せず）。
入会申込み先	深谷 繁 fukaya@kcn. ne. jp



共通 E D I 推進研究会	
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当研究会は、I T C 協会が基本仕様を策定し、普及を推進している中小企業向け共通 E D ツールを、診断士がサポートする企業に普及させることを目的としている。</li> <li>・すでに I T C 協会が認定したソフト会社 4 社が先行しており、いま依頼があればそれを紹介することになるが、診断士がかかわる規模の企業には、価格、機能、導入支援作業等に問題があり、普及するには改善をしてゆかなければならない。</li> <li>・当研究会では、今後 1 年で、もっとシンプルな機能を低価格かつ導入支援なしで適用できるよう、診断士版共通 E D I を開発していく。</li> <li>・その後、奈良県診断士会が全国の診断協会での推進の旗振り役となり、診断士のビジネスとして確立していく。</li> <li>・なお、I T C 協会では、共通 E D I 推進サポーター制度を開始しており、当研究会主査は昨年 7 月に認定を受けた。他の研究会のメンバーにも認定を推進する。</li> <li>・コロナ騒ぎで現在活動がとまっているが、収束しだい開始する。</li> </ul>
会員数	5 名、活動に参加を希望する会員はいつでも入会していただく
開催頻度	2 ヶ月に 1 回の集合研究、個人作業はテレワークで行う
入会申込み先	主査（代表）：渡辺武久まで <a href="mailto:fwkz5706@nifty.com">fwkz5706@nifty.com</a>



## 奈良活性化研究会

活動内容	<p>本年は、新型コロナウイルスの影響で3回の開催となりました。6月には、今後増加していくであろう Zoom 等オンラインを利用した指導等のために、最も利用されている Zoom の入門講義を、この世界の第一人者かもしれない渡辺淳副会長に講義して頂きました。</p> <p>8月には、コロナ渦でも奈良の活性化のために頑張っている、我が奈良県のプロバスケットボールチーム、バンビシヤス奈良の加藤社長様に、ご多忙の中お時間を頂きました。</p> <p>11月には、小規模 M&amp;A のプラットフォームを運営するバトンズの支社長に、小規模 M&amp;A のインターネットを活用した方法と、中小企業診断士の関わり方等について具体的にお話してもらいました。</p> <p>今年は、コロナの影響から、密を避けて少し外に出て、奈良の社寺や自然について学んでいこうと考えています。</p>
会員数	約80名
開催頻度	3カ月に一回程度
入会申込み先	保延薦代表 <a href="mailto:honobe@tkcnf.or.jp">honobe@tkcnf.or.jp</a> に連絡ください



### ◆ 令和3年1月～7月開催の予定行事

- ◆ 新春互礼会：新型コロナウイルス感染症の影響を鑑みて中止
- ◆ 診断士会総会：新型コロナウイルス感染症の状況を観察しながら検討中  
(開催日時及び開催方法については、後日お知らせ致します)

### 編集後記

- ▽ 会報「診断なら」2021 新年年をお届けします。  
原稿をお寄せいただいた皆さまに改めて御礼申し上げます。
- ▽ 毎日寒い日が続きます。充分にご自愛ください。
- ▽ 「診断なら」では、会員の皆さまの寄稿も積極的に紹介していきたいと考えています。  
エッセイや時事論考など、随時お寄せいただければ幸甚です。 【本田】

〒630 - 8217  
奈良市橋本町 3-1  
きらっ都・奈良 3階 302号  
Tel : 0742-20-6688  
Fax : 0742-20-6788  
e-mail : [jsmeca27@m3.kcn.ne.jp](mailto:jsmeca27@m3.kcn.ne.jp)

一般社団法人  
奈良県中小企業診断士会  
<http://www.nara-shindanshi.jp/>